

みんなで守ろう！ 子どもの権利

一人ひとりが安心してスポーツに参加できるよう
コーチからの約束

『権利』ってなに？ (基本的人権)

子どももおとなも、私たちは誰でも、いろいろな権利をもっています。権利とは、一人ひとりが「あたりまえに」約束されていることです。権利がちゃんと守られている時、からだの中からぽかぽかした気持ちになって、自分の内側から力がみなぎってくるような気持ちになります。自分が自分であることがうれしくなります。これが一人ひとりの「安心・安全」が守られている状態です。



子どもの権利 (子どもの権利条約)

基本的人権に加えて、子どもは子どもとして生きるために絶対に必要な権利「子どもの権利」をもっています。

1. スポーツに安心・安全に参加し、楽しむ権利 (第31条)



2. 心やからだを傷つける行為から守られ、すくすくと成長できる権利。
もし万が一傷つけられた時には、無視されることなく、一緒に考え、権利を守ってもらえる権利 (第5条・第6条)



3. コーチや、おとなや、周りの友達から差別されない権利 (第2条)



4. 子どもにとって一番よいことを考えてもらえる権利 (第3条)



5. 自分に関することについて自分の気持ちや意見を自由に表現し、それを聴いてもらえる権利 (第12条・第13条)



他にも「子どもの権利」はたくさんあります。お家の人やコーチと一緒に調べてみましょう！



コーチは、みんなと一緒に子どもの権利を守るために次のことを約束します。

- バカにしたり、心を傷つけるようなことを言ったり、罰やペナルティーを与えたりしません。
- 叩いたり、蹴ったりして、からだを傷つけません。
- 無視したり、差別したりしません。
- からだにいやだな、気持ち悪いなと思う触り方をしたり、いやらしいと感じる言葉を言ったりしません。
- 一人ひとりの呼ばれたい名前を大事にします。
- 子どもの気持ちや意見をよく聴きます。あなたを否定しません。
- 困っている子どもをそのままにしません。あぶないこと・あぶないものをとりのぞきます。
- みんなが楽しく・自分のペースで成長できることを助けるために、一緒に考え、説明し、精一杯努力し続けます。

他にも、

みんながコーチに守ってほしい約束があったら話し合ってみましょう。
もしコーチが約束を守っていない時には、「いやだ」と思っても良いし、「やめて」と言うことができます。
困ったことがあれば、あなたが信頼できるおとなに相談してください。



子ども相談窓口



<https://scpjapan.com/safeguarding-report-form>

セーフガーディングオフィサー：